



2020年5月15日

各 位

会 社 名 株式会社エムアップホールディングス
代 表 者 名 代 表 取 締 役 美 藤 宏 一 郎
(コード番号: 3661)
問 い 合 わ せ 先 取 締 役 総 務 経 理 部 長 藤 池 季 樹
TEL. 03-5467-7125

(訂正) 「2019年3月期 第3四半期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

2020年2月14日に公表いたしました「2019年3月期 第3四半期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容に一部誤りがございましたので、下記の通り訂正してお知らせいたします。なお、数値データについては、訂正はありません。

記

1. 訂正の理由

「2019年3月期 第3四半期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の発表後、記載内容の一部に誤りがあることが判明しましたので、提出済みの決算短信を訂正させていただくものであります。なお、今回の訂正による損益への影響はございません。また、訂正箇所は下線を付して表示しております。

2. 訂正の内容

添付資料3ページ、

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(訂正前)

<前略>

①コンテンツ事業

コンテンツ事業では、スマートフォンやPC向けのファンクラブサイト運営や各種デジタルコンテンツ配信、アプリの提供などを行っており、これまでのセグメントでは、携帯コンテンツ配信事業、PCコンテンツ配信事業及びアプリ事業が含まれております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、EMTG株式会社の子会社化に伴い、当社グループにて運営するファンクラブ/ファンサイト並びに有料会員数が大幅に増加いたしました。また、これまでと同様に、アーティストや声優、タレントのファンクラブ、ファンメールサイトの開設を進めるとともに、他社からのサイト運営の移管などによって、新たな有料会員の獲得に取り組んでまいりました。加えて、既存サイト、サービスのアプリ化やアプリを通じたスマホ決済サービスの導入などを進めることで、多様化する利用者ニーズへの対応と、収益獲得のための間口の拡大にも努めてまいりました。

既存のファンクラブサイトにおいては、電子チケット及びチケットトレードサービス、ファンメールやWEBラジオ機能の導入により、会員数維持や単価上昇のための施策を講じてまいりました。

また、これまでのコンテンツ配信で培った経験やノウハウを活用し、テレビ局が提供するアニメ動画見放題サービスなど動画配信分野の強化を進め、動画配信分野での新規事業の開発にも引き続き努めてまいりました。

その他、アイドルグループとのコラボレーション公式ファンアプリにおいて、機能追加や利便性の向上を目的とした大型アップデートを行うとともに、各種キャンペーンを展開してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におけるコンテンツ事業の売上高は3,695百万円（前年同期比44.7%増）、セグメント利益は447百万円（前年同期比18.1%減）となりました。

<後略>

(訂正後)

<前略>

①コンテンツ事業

コンテンツ事業では、スマートフォンやPC向けのファンクラブサイト運営や各種デジタルコンテンツ配信、アプリの提供などを行っており、これまでのセグメントでは、携帯コンテンツ配信事業、PCコンテンツ配信事業及びアプリ事業が含まれております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、EMTG株式会社の子会社化に伴い、当社グループにて運営するファンクラブ/ファンサイト並びに有料会員数が大幅に増加いたしました。また、これまでと同様に、アーティストや声優、タレントのファンクラブ、ファンメールサイトの開設を進めるとともに、他社からのサイト運営の移管などによって、新たな有料会員の獲得に取り組んでまいりました。加えて、既存サイト、サービスのアプリ化やアプリを通じたスマホ決済サービスの導入を進めることで、多様化する利用者ニーズへの対応と、収益獲得のための間口の拡大にも努めてまいりました。

既存のファンクラブサイトにおいては、電子チケット及びチケットトレードサービス、ファンメールやWEBラジオ機能の導入により、会員数維持や単価上昇のための施策を講じてまいりました。

また、これまでのコンテンツ配信で培った経験やノウハウを活用し、テレビ局が提供するアニメ動画見放題サービスなど動画配信分野の強化を進め、動画配信分野での新規事業の開発にも引き続き努めてまいりました。

その他、アイドルグループとのコラボレーション公式ファンアプリにおいて、機能追加や利便性の向上を目的とした大型アップデートを行うとともに、各種キャンペーンを展開してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におけるコンテンツ事業の売上高は3,699百万円（前年同期比44.8%増）、セグメント利益は379百万円（前年同期比30.5%減）となりました。

<後略>

添付資料10ページ、
【セグメント情報】、

(訂正前)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	コンテンツ 事業	EC事業	電子 チケット 事業	計				
売上高								
外部顧客 への売上 高	3,695,648	459,563	293,152	4,448,363	83,469	4,531,833	-	4,531,833
セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	3,704	-	-	3,704	985	4,689	△4,689	-
計	3,699,352	459,563	293,152	4,452,068	84,455	4,536,523	△4,689	4,531,833
セグメント 利益	<u>447,233</u>	133,465	122,883	<u>703,583</u>	6,491	<u>710,074</u>	<u>△360,162</u>	349,911

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、子会社の事業を含んでおりま
す。

2. セグメント利益の調整額△360,162千円には、セグメント間取引消去△4,689千円、各報告セグメントに
配分していない全社費用△355,473千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一
般経費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

<後略>

(訂正後)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	コンテンツ 事業	EC事業	電子 チケット 事業	計				
売上高								
外部顧客 への売上 高	3,695,648	459,563	293,152	4,448,363	83,469	4,531,833	-	4,531,833
セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	3,704	-	-	3,704	985	4,689	△4,689	-
計	3,699,352	459,563	293,152	4,452,068	84,455	4,536,523	△4,689	4,531,833
セグメント 利益	<u>379,219</u>	133,465	122,883	<u>635,568</u>	6,491	<u>642,059</u>	<u>△292,147</u>	349,911

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、子会社の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△292,147千円には、セグメント間取引消去△4,689千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△287,458千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般経費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

<後略>

以上